

水道技能スペシャリスト制度について

1 背景

近年、各地で発災している大規模な災害や水道管の老朽化等による漏水事故に備え、危機対応能力の維持・向上が求められており、危機事象に、迅速かつ的確に対応できる能力を持った組織・人材の確保が必要である。

平成22年度から川崎市では、災害時の強化及び技術技能の継承などの課題に対して、**水道技能スペシャリスト制度**を活用して様々な取組を実施している。

2 スペシャリストの定義

川崎市上下水道局における**水道技能の維持向上及び継承を図る**ため、局の技能職員及び業務職員のうち、**特に高い水道技能を有する者**として認定された者をいう。

3 スペシャリストの役割

- ①緊急時における復旧活動
- ②市の防災訓練並びに災害時に備えた他の水道事業体との応急給水及び復旧訓練
- ③局における水道技能の維持向上及び継承に関すること

4 スペシャリストの主な活動

①緊急時における復旧活動

災害時において、スペシャリストによる迅速かつ的確な復旧対応を実施し、復旧支援の充実を図る。



災害派遣(能登半島地震)



②市の防災訓練並びに災害時に備えた他の水道事業体との応急給水及び復旧訓練

災害時相互応援都市(静岡市、札幌市)とスペシャリストによる共同訓練を実施する。

給水タンク注水訓練



応急給水資器材組立訓練



③局における水道技能の維持向上及び継承に関すること

スペシャリストが主体となり、漏水事故想定訓練を実施する。

自然漏水



漏水事故想定訓練

